

報道関係者各位

【緊急避妊薬の薬局での試験的運用開始：周知と拡大、迅速な全面的なスイッチOTC化の実現を】**11月28日、要望書提出・記者会見のご案内**

女性が健康を守るために、安心して、適切かつ安全に、緊急避妊薬にアクセスできる社会の実現を目指す「緊急避妊薬の薬局での入手を実現する市民プロジェクト（通称：緊急避妊薬を薬局でプロジェクト）」では、この度「緊急避妊薬OTC化の試験的運用の周知、及び迅速かつ全面的なOTC化実現を求める要望書」を厚生労働省に提出します。

緊急避妊薬は、妊娠可能性のある性行為からできる限り早く、72時間以内に服用することで高い確率で妊娠を防ぐことができる薬です。2023年11月28日より地域の一部薬局における試験的運用について（緊急避妊薬販売に係るモデル的調査研究）が開始となります。しかし、調査対象となる薬局は全国で145店舗を見込まれており、全国約6万軒ある薬局のごく一部となります。WHOは、緊急避妊薬の入手は女性の権利とし、「必要とするすべての女性・少女がアクセスできるようにすべき」と勧告しており、国際産婦人科連合（FIGO）は緊急避妊薬をOTC/処方箋を必要としない提供に適するとしています。また、46,312件のパブリックコメントが集まり、約98%が賛成であったことを鑑みても、意図しない妊娠のリスクを抱えたすべての女性が日本でも迅速に緊急避妊薬にアクセスできるよう、緊急避妊薬を取り扱う薬局を増やし、また緊急避妊薬の早急かつ全面的なOTC化の実現を求めます。
※日本薬剤師会 緊急避妊薬販売に係る環境整備のための調査事業サイト（11/28 10時公開予定）<https://pharmacy-ec-trial.jp/>

【当日のスケジュール】2023年11月28日（火）

集合：9時45分 厚生労働省/中央合同庁舎第5号館 1階ロビー

・10時00分～ 厚生労働省への要望書提出@1階 共用第1会議室

（受取：厚生労働省 医薬・生活衛生局 医薬品審査管理課 中井清人課長）

「緊急避妊薬OTC化の試験的運用の周知、及び迅速かつ全面的なOTC化実現を求める要望書」提出

※冒頭 要請書の手交のみ撮影可、同行取材希望者は**11/27(月)15時**までにご連絡ください。

・13時00分～14時00分 記者会見@八丁堀駅会議室（現地・オンラインのハイブリッド開催）

【記者会見概要】

会場：セントラル京橋三立ビル別館 ROOMs第2会議室

東京都中央区八丁堀3-17-16 セントラル京橋三立ビル別館 903号室（八丁堀駅徒歩3分）

内容： ・緊急避妊薬OTC化の試験的運用開始についての受け止め
・試験的運用の周知、及び迅速かつ全面的なOTC化実現を求める要望書・厚労省の受取について
・今後のプロジェクトについて

登壇者： NPOピルコン理事長 染矢明日香 /なんでないのプロジェクト代表 福田和子

【アフターピル（緊急避妊薬）を必要とするすべての女性に届けたい！署名キャンペーン】 <https://www.change.org/afterpill>

賛同者数 約17万人！（2023年11月現在）

私たちの要望（一部抜粋）：

- 緊急避妊薬をOTC化してください。また、諸外国との価格差を無くしてください。
- 文部科学省と連携し、ピルや避妊についてしっかりした知識をつける性教育を充実させてください。義務教育である中学校までの教育で取り上げるべきです。

【お願い】取材希望の方は、11/27(月)15時までに下記フォームより参加登録をお願いします。

<https://forms.gle/BEM93dtHVw6LcfG57>

活字媒体の公開にあたりましては、お手数ですが、当プロジェクトに内容確認をお願いいたします。

**【取材お問い合わせ先】** 緊急避妊薬の薬局での入手を実現する市民プロジェクト/NPO法人ピルコン担当：染矢明日香 **E-mail** : info@kinkyuhinin.jp / a.someya@pilcon.org **TEL** 070-8327-9571 <https://kinkyuhinin.jp/>